

連合東京 第35回地方委員会 会長挨拶

2024年10月17日

会長 斉藤 千秋

連合東京第35回地方委員会にご参集いただきました地方委員、特別地方委員、傍聴者の皆様、各選挙対応など大変お忙しい中ご対応いただき、ありがとうございます。本日は、大変お忙しい中、ご来賓として、連合本部より芳野会長、東京都より松本副知事はじめ、連合東京の政策実現に日頃よりご支援いただいている各友好政党から、国民民主党 磯崎 都連会長、都民ファーストの会 森村代表にご臨席いただいております。後程、連帯のご挨拶をいただきたいと思えます。

また、日頃よりお世話になっております、(一社)東京労働者福祉協議会 大塚代表理事、中央労働金庫東京都本部 座光寺常務理事、こくみん共済 coop 東京推進本部 岡 本部長にもご臨席いただいております。心よりお礼申し上げます。

さて、地方委員会の冒頭で、今年3月にご逝去されました大野 博 連合東京顧問、全国一般東京一般労働組合 鈴木 満雄 執行委員長のご冥福を祈り黙とうを捧げました。ご両名の連合運動への貢献に感謝するとともに、ご指導いただきました運動をしっかりと継承していきたいと思えます。

また、今年は能登半島地震に始まり、多くの自然災害で尊い命が失われました。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致します。

昨年10月に行われました第18回定期大会で会長に選任いただいてから、あっという間に1年が経過いたしました。アフターコロナで、労働組合らしい対面の活動がほぼ戻りました。国内外の交流、青年委員会の交流活動も活発に行い、春闘や労働組合の日、最低賃金の改定を周知する街宣活動も地協・地区協のご協力のもと活発に行い、連合東京の「顔が見える活動」を推進できたと思っております。

この間、構成組織の皆さん、地協・地区協の皆さんには様々な局面で、献身的なご協力をいただきましたこと、高い席からではありますが、心から感謝申し上げます。

げます。

地方委員会開催の挨拶として、この1年の活動を振り返りながら向こう1年の運動の思いについてお伝えしたいと思います。

1点目は政策制度の取り組み成果です。

昨年の定期大会以降、私たちのもっとも評価すべき取り組みは、東京都の「カスタマーハラスメント防止条例」の制定に向けた取り組みだと思います。

昨年10月の公労使会議に始まり、その後の検討部会、そして先月の都議会での審議を経て、来年4月施行の条例が可決しました。これは、昨年6月に連合東京として官民間問わず職場で問題となっているカスハラを何とか改善したいけれども、労使の協議では何も進めることができなかったことを、東京都への政策制度として取り組み、約1年というスピードで条例制定が実現しました。この背景には、連合東京がその必要性を都議会の各会派にお伝えし、共感を頂くとともに、東京都が働く人の職場改善に行政としてどのようにカスハラを防止できるか最善策を検討いただき、有識者の方々も参加する検討部会に連合東京も委員として参画し、職場実態に即した条例案の検討をおこなってきた成果です。労使の交渉では立ちゆかない社会的な課題を、行政、政治の力を借りながら改善の一步を踏み出したこと、なによりもカスハラという言葉を、多くの方が知り、カスハラにあたらぬよう行動変容がおきたことに、その条例制定の意義があります。施行までの間は、啓発ポスターが作成され、ガイドラインが策定されます。

引き続き、職場実態を東京都や議員の皆さんにお伝えしながら、日本初となるカスハラ条例の実効性を高め、東京からカスハラのない社会に変えていきたいと思えます。

また、公契約条例の制定については、6月に文京区で制定されました。都内で17番目、特別区で14番目となります。推薦首長の理解のもと、推薦議員、地区協役員、関係労働団体と連携し、今年も多くの行政で準備を進めている中、「中小企業等の労働者の賃金・労働条件の著しい低下をさせない」ためにも、引き続き、取り組みを推進していきます。

2点目は、政治の取り組みです。

7月に行われた東京都知事選挙では、連合東京は現職の小池百合子知事を支

持しました。蓮舫氏の立候補により「なぜ連合東京は蓮舫さんを応援しないのか」といった非難が、事務所への電話やSNSなどでもありました。私たちは、候補者とのこれまでの関係の中で「東京で働く者の政策を実現していく最適解」として現職を推したわけで、カスハラ条例の制定などを考えてみればその選択は正しかったと確信しています。

また、今まきに行われている第50回衆議院議員選挙の取り組みについても、連合東京として20名に推薦支援を出し取り組んでいます。公示日には多くのボランティアの方が地域で活動いただき、そして今も「働く者の政治に変える」ために、昼夜、ボランティア活動に参加しています。物価高が続き、一時はスーパーから米が無くなり、春闘で過去最高の賃上げができて、税・社会保障費でがつつり取られ、消費に回せる手取りが残らない、現役世代のサラリーマンのような取りやすいところに負担を強いて、政策活動費は使途不明でも良い、そんな政治を今こそ変えていかなくてはなりません。

働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、真面目に働くものが報われる社会を創っていくために、雇用と生活を第一に考える議員を国政に送っていかなくては、労働の規制緩和、労働者の使い捨ての政治を終わらせることはできません。

そして来年は、12年に一度、都議会議員選挙と参議院議員選挙が行われる年です。現在行われている衆議院議員選挙の結果いかんでは、参議院議員選挙では政権交代が可能になります。一人でも多くの方に「投票に行こう」とよびかけ、政治を変えていきましょう。

また、来年の都議選挙、参議院選挙では、現在開設している「政治NUMA（ニュー・ユニオン・メンバーズ・アカデミー）」で検討いただいている若年層の投票率向上施策などを実践していくとともに、私たち労働者の代表である議員の育成を行う「政策実現塾」の2期生募集なども行っていきますので、各組織でのご検討を進めていただきたいと思います。

3点目は、連合本部の中央会費制度への移行や地域ゼネラル連合への移行への準備です。

2026年1月にスタートすることから、構成組織に地域活動への参画の意義など対話をしながら、地域活動の活性化につなげていきたいと思ひます。

また、地域ゼネラル連合には、零細企業など組合をつくりたくても仲間がいない商店や企業で働いている個人を対象に、例えば、職業や業種で組合を作り仲間を作っていくことにつなげていくことで連合の組織拡大につながっていくと考えます。大企業、男性、正社員といった「連合の壁」ではありませんが、11月から始まるフリーランスの労災保険センターの創設を契機に、企業の労働組合の枠を超える挑戦をしていくときだと感じています。

中央労働金庫やこくみん共済coopとともに「共助」に根差した労働者自主福祉運動を推進することで、労働者のセーフティネットを広げ、働くものの安心社会を実現していきたいと考えます。

4つ目は、ジェンダー平等・女性活躍の取り組みです。

東京都では女性活躍に関する条例制定に向けた論議が始まっており、連合東京も委員として参画しています。国際的にみて低位にある企業の女性管理職を増やすことも重要ですが、私自身の女性活躍の課題意識は、日本の働く女性の半分以上が非正規労働、有期雇用労働として働いている実態を改善していくことが先決だと考えています。シングルマザーがダブルワーク、トリプルワークで生計をたて子どもを育てているような生活環境を改善するために、シングルマザーが正規社員として働く環境を整備しつつ、男女間の賃金格差の要因となる労働時間を、たとえば所定労働を短縮するなど働き方を見直しながら、政策制度では、育児や介護の社会的支援を充実していくことで、女性活躍の下支えをしていきたいと考えます。

また、労働環境を改善することで、女性の職域拡大をしていくことも重要です。もちろん足元、私たちの組合活動に多くの女性が参画できるように、本日、規約改定を提案致します。労働組合活動の女性参画をともに進めていきましょう。

結びに、昨年確立した運動のスローガンは「連帯 共助 平和 ～社会を変える組織力の結集 ところをつなぐ運動の推進～」です。

1月に発災した能登半島地震から10ヵ月、8月には豪雨も襲いました。連合は、ボランティアを派遣し被災地支援を行ってきましたが、被災地の復旧はまだまだ進んでいません。自然災害を防ぐことはできませんが、被災地に寄り添う政治が必要な時に、政治が機能していないことを私たちは目の当たりにしていま

す。これは、子ども・若者支援プラットフォーム「HOPE」の活動を通じても同様の思いで、子ども食堂を頼りに生きている親子を目にすると、真に政治を必要とする人に支援が届いていないと痛感します。

くどいですが、今こそ、「政治を変えて、働き方、暮らし方を変える時」です。

来年、戦後80年を迎えます。

先日ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の皆さんの「核兵器のない世界」の思いを、労働組合が次代を担う若者に、戦争の悲惨さ、核兵器の怖さを語りつなげていかななくてはなりません。それが、今を生きる私たちの使命です。

運動推進の思いを縷々申し上げました。思いを共有できればと思います。

最後に、地方委員会、そして、今後開催されますブロック地協、地区協委員会をもって退任されます皆様のこれまでの連合東京の運動に対するご協力に感謝するとともに、新たなステージでのご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。本日はよろしく申し上げます。

以上